

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成24年3月15日 (2012.3.15)

【公開番号】特開2010-252105(P2010-252105A)

【公開日】平成22年11月4日 (2010.11.4)

【年通号数】公開・登録公報2010-044

【出願番号】特願2009-100187(P2009-100187)

【国際特許分類】

H 0 4 N 9/07 (2006.01)

H 0 4 N 5/335 (2011.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

G 0 2 B 3/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 9/07 A

H 0 4 N 5/335 V

H 0 4 N 5/225 D

G 0 2 B 3/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年1月26日 (2012.1.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

開口絞り 1 0 は、撮像レンズ 1 1 の光学的な開口絞りである。この開口絞り 1 0 は、例えば図 2 に示したように、その中央部に一つの円形の開口部 1 0 A を有している。これにより、詳細は後述するが、開口絞り 1 0 を通過した全ての光線が、その進行方向に関する情報を保持するようになっている。なお、開口絞り 1 0 とマイクロレンズアレイ 1 2 との間は、距離 L となるように配置されている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

[画像処理部の詳細構成例]

次に、図 6 を参照して画像処理部 1 4 の詳細構成について説明する。図 6 は、画像処理部 1 4 の機能ブロック構成を表したものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 6】

欠陥補正部 1 4 1 は、撮像データ D 0 に含まれる黒とび等の欠陥（撮像素子 1 3 の素子自体の異常に起因した欠陥）を補正するものである。クランプ処理部 1 4 2 は、欠陥補正部 1 4 1 による欠陥補正後の撮像データにおいて、各画素データの黒レベルの設定処理（

クランプ処理)を行うものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図6】

